

骨材試験成績表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

報告者 津田 喜明

試験項目	試験規格	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.630	2.631	2.583	2.668			
	かさ		2.588	2.591	2.539	2.621			
	見掛		2.701	2.701	2.656	2.750	2.710		
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	1.62	1.56	1.74	1.78	0.01			
ロゼットすりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121	17.5							
安定性 (%)	JISA 1122	1.4	0.7	2.5	2.1				
骨材の微粒分量試験通過量 (%)	JISA 1103	0.12	0.30						
軟石含有量 (%)	JISA 1126	0.0							
偏平/細長石片の含有量 (%)	舗装調査・試験法便覧	1.66							
単位容積質量 g/ml	JISA 1104								
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.07	0.10						

通過質量百分率 (%)	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
		53.0 mm							
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19.0	100.0							
	13.2	99.4		100.0					
	9.5								
	4.75	4.9	100.0	98.5	100.0				
	2.36	0.3	6.9	90.7	93.9				
	1.18								
	600 μm		0.2	47.5	47.5				
	300			20.1	20.4	100.0			
	150			2.2	14.6	97.9			
	75			1.3	10.7	88.0			

骨材の粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質II型)

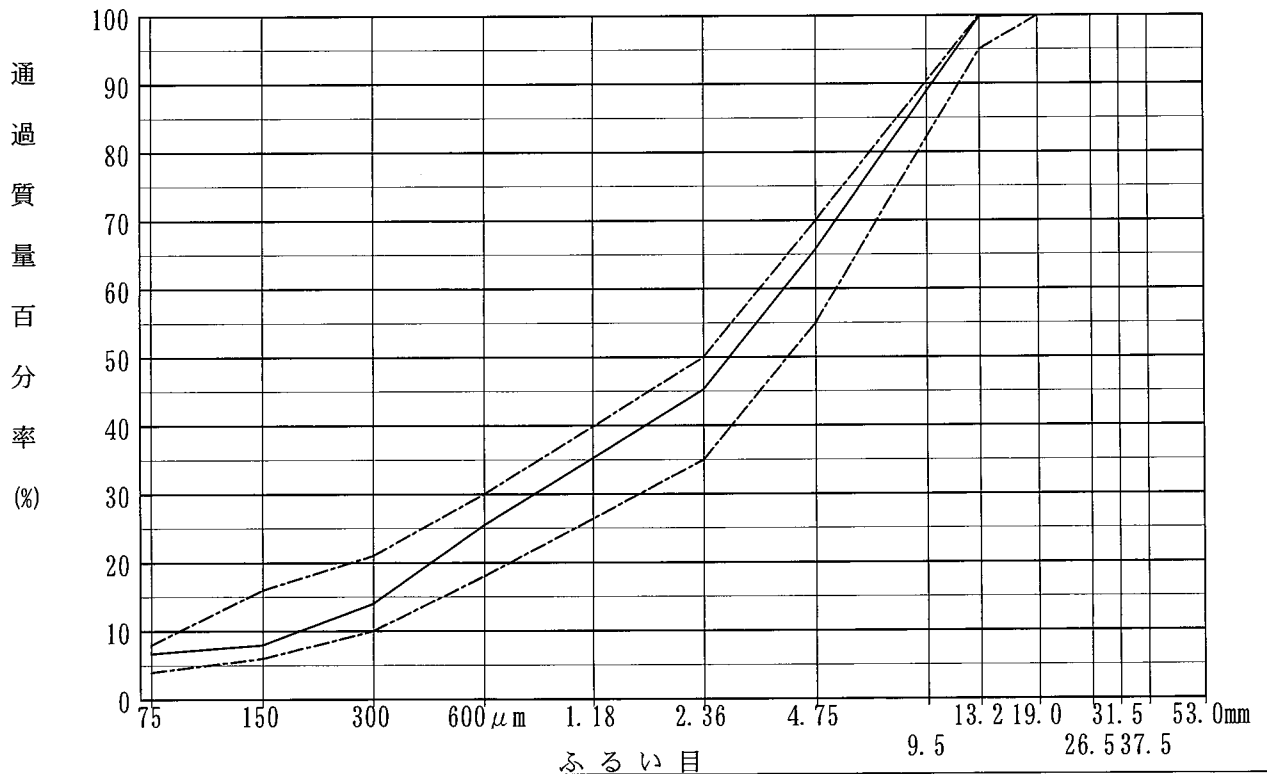
試 験 者 津田 喜明

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒 度 範 囲
53.0 mm		
37.5		
31.5		
26.5		
19.0	100.0	100
13.2	99.8	95 ~ 100
9.5		
4.75	65.8	55 ~ 70
2.36	45.3	35 ~ 50
1.18		
600 μm	25.5	18 ~ 30
300	14.0	10 ~ 21
150	8.0	6 ~ 16
75	6.7	4 ~ 8

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ———— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)(改質Ⅱ型)

試験者 津田 喜明

① 骨材の種類	② 骨材の配合率 (%)	③ 骨材の密度			④ 計算に用いる密度	⑤ $\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
		6号碎石	35.5	2.630		
7号碎石	17.0	2.631	2.591	2.701	6.294	
粗砂	28.0	2.583	2.539	2.656	10.542	
スクリーングス	14.0	2.668	2.621	2.750	5.091	
石粉	5.5			2.710	2.030	
Σ⑤=					37.100	

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルト の密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma⑤(100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 $100/⑩$
4.5	1.032	4.360	35.431	39.791	2.513
5.0	1.032	4.845	35.245	40.090	2.494
5.5	1.032	5.329	35.060	40.389	2.476
6.0	1.032	5.814	34.874	40.688	2.458
6.5	1.032	6.298	34.689	40.987	2.440
5.4	1.032	5.233	35.097	40.330	2.480

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計 試験年月日 2026年2月
 混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質II型) 試験者 津田 喜明
 アスファルトの種類 ポリマー改質ASII型 アスファルトの密度(A) 1.032 g/cm³ アスファルトの温度 178 (°C)
 骨材の温度 195 (°C) 突固め時の温度 165 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑭	⑮	⑯	
		アスファルト量	供試体平均厚	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	かさ	理論	アスファルト容積	空隙率	空隙率	飽和度	力計の読み	安定度	安定度	安定度	安定度	安定度	安定度
		(%)	(cm)	(g)	(g)	(g)	(cm ³)	(g/cm ³)	(g/cm ³)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
標準	1	4.5	6.32	1200.4	695.5	1202.3	506.8	2.369								8.71	8.71	22		
	2		6.35	1201.5	692.9	1203.4	510.5	2.354								8.32	8.32	26		
	3		6.33	1199.7	693.2	1201.6	508.4	2.360								8.56	8.56	23		
標準	4	5.0	6.32	1205.3	699.4	1206.5	507.1	2.377								9.36	9.36	26		
	5		6.32	1204.2	697.7	1205.6	507.9	2.371								9.14	9.14	24		
	6		6.31	1205.9	701.0	1207.2	506.2	2.382								9.51	9.51	27		
標準	7	5.5	6.32	1211.0	704.3	1211.8	507.5	2.386								9.98	9.98	27		
	8		6.33	1210.2	702.0	1211.1	509.1	2.377								9.71	9.71	29		
	9		6.31	1209.6	704.3	1210.3	506.0	2.391								10.15	10.15	32		
標準	10	6.0	6.32	1210.9	703.5	1211.5	508.0	2.384								10.02	10.02	32		
	11		6.31	1208.7	702.9	1209.2	506.3	2.387								9.81	9.81	29		
	12		6.31	1211.3	705.7	1211.8	506.1	2.393								10.26	10.26	31		
標準	13	6.5	6.35	1210.5	700.1	1210.7	510.6	2.371								9.45	9.45	32		
	14		6.32	1209.0	702.0	1209.2	507.2	2.384								9.90	9.90	36		
	15		6.33	1210.1	701.5	1210.3	508.8	2.378								9.67	9.67	35		
							2.378	2.440	15.0	2.5	17.5	85.7			9.67		34			

(注1) ⑤-④
 (注2) ③/⑥
 (注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

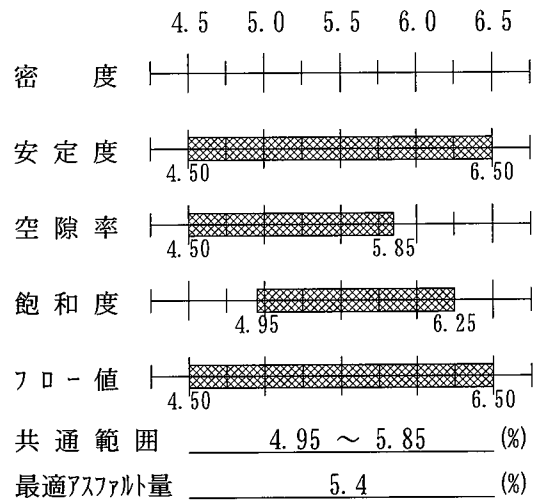
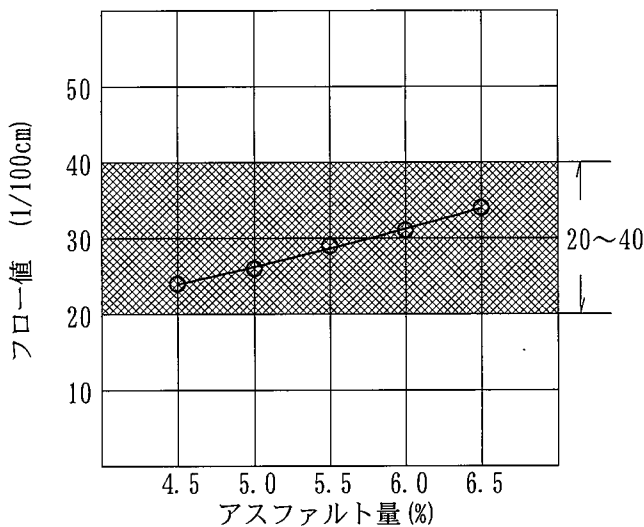
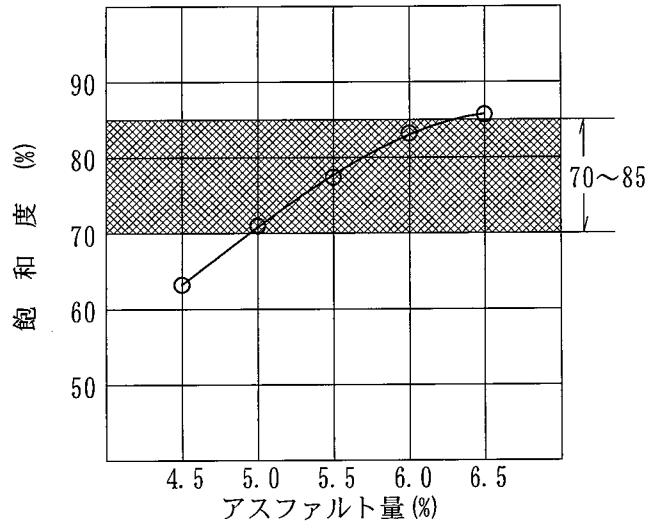
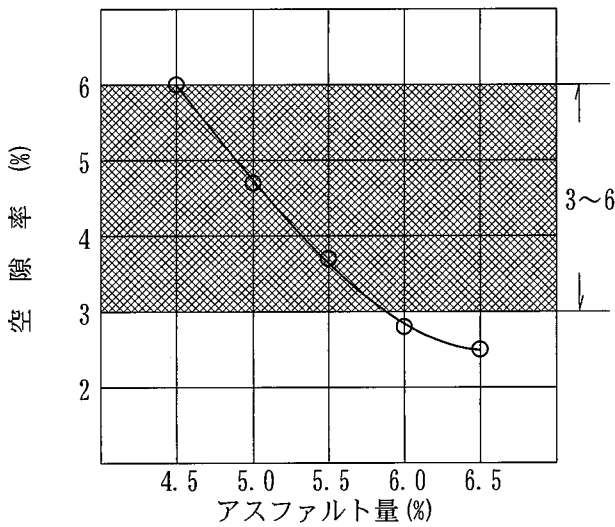
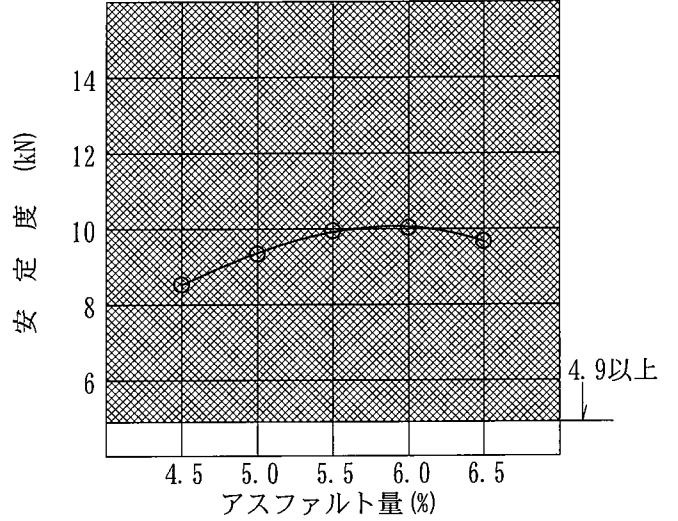
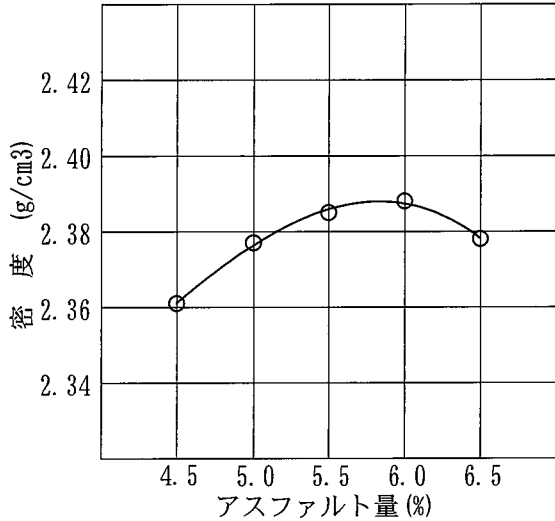
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質II型)

試験者 津田 喜明



配合設計まとめ

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質Ⅱ型)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

1. 骨材配合率

材 料	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉			
配合率 (%)	35.5	17.0	28.0	14.0	5.5			

2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率					100.0	99.8		65.8	45.3		25.5	14.0	8.0	6.7

3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 5.4 %

ホットビン粒度設計

目的 試験練り

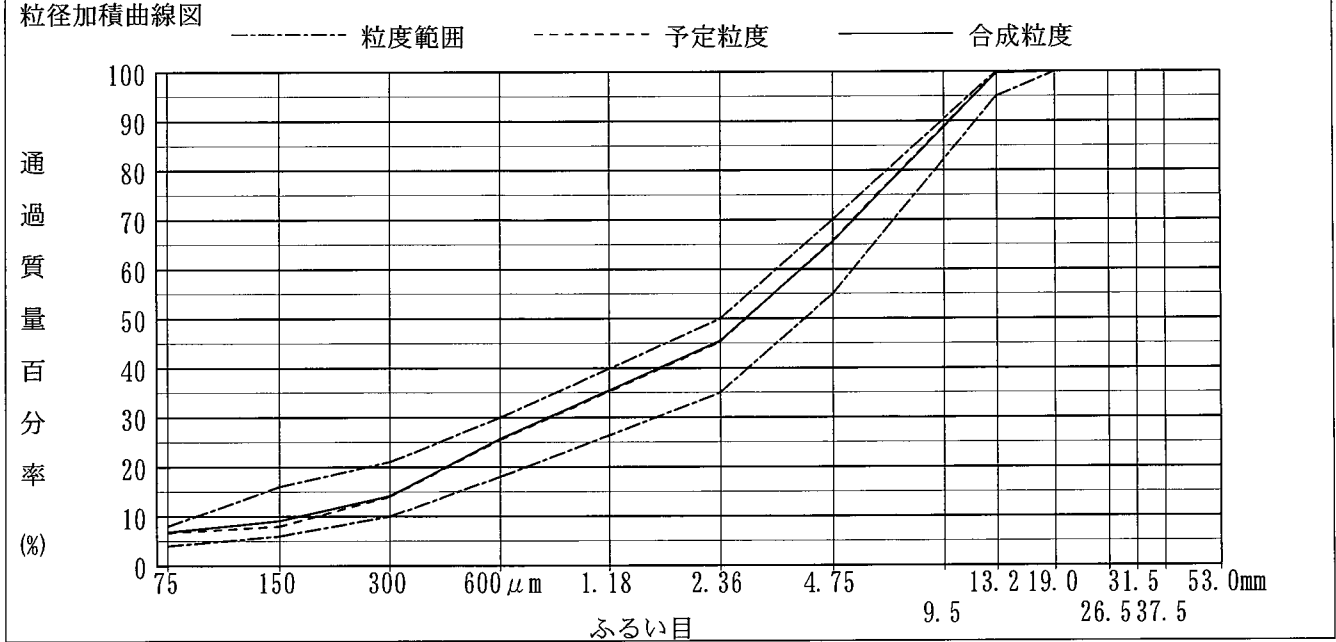
報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)(改質II型)

試験者 津田 喜明

ビン	5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉					
配合率(A) (%)			31.5	20.0	41.0	2.0	5.5					
通過質量百分率	53.0 mm											
	37.5											
	31.5											
	26.5											
	19.0			100.0								
	13.2			98.9	100.0							
	9.5											
	4.75			1.3	83.3	100.0						
	2.36			0.3	1.4	91.6						
	1.18											
(B)	600 μm				0.2	44.3	100.0					
	300					16.2	99.3	100.0				
	150					4.5	93.4	97.8				
	75					0.9	78.1	88.0				

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	予定粒度	
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
53.0 mm															
37.5															
31.5															
26.5															
19.0			31.5											100.0	100.0
13.2			31.2	20.0										99.7	99.8
9.5															
4.75			0.4	16.7	41.0									65.6	65.8
2.36			0.1	0.3	37.6									45.5	45.3
1.18															
600 μm				0.0	18.2	2.0								25.7	25.5
300					6.6	2.0	5.5							14.1	14.0
150					1.8	1.9	5.4							9.1	8.0
75					0.4	1.6	4.8							6.8	6.7



混合物の理論最大密度計算表

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)(改質Ⅱ型)

試験者 津田 喜明

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材の配合率 (%)	骨材の密度			計算に用いる密度	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
6号碎石	35.5	2.630	2.588	2.701	2.701	13.143
7号碎石	17.0	2.631	2.591	2.701	2.701	6.294
粗砂	28.0	2.583	2.539	2.656	2.656	10.542
スリーニングス	14.0	2.668	2.621	2.750	2.750	5.091
石粉	5.5			2.710	2.710	2.030
$\Sigma ⑤ =$						37.100

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルトの密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 $100/⑩$
5.4	1.032	5.233	35.097	40.330	2.480

現場配合まとめ

混合物の種類 密粒度アスコン(13) (改質Ⅱ型)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

配 合 表				合 成 粒 度		
種 類	骨材配合 (%)	混合物配合 (%)	計 量 値 (kg)	ふるい目	通過質量百分率 (%)	粒 度 範 囲 (%)
3 BIN	31.5	29.8	298	53.0mm		
2 BIN	20.0	18.9	189	37.5		
1 BIN	41.0	38.8	388	31.5		
ダスト	2.0	1.9	19.0	26.5		
石粉	5.5	5.2	52.0	19.0	100.0	100
				13.2	99.7	95 ~ 100
				9.5		
				4.75	65.6	55 ~ 70
				2.36	45.5	35 ~ 50
アスファルト		5.4	54.0	1.18		
				600μm	25.7	18 ~ 30
				300	14.1	10 ~ 21
				150	9.1	6 ~ 16
				75	6.8	4 ~ 8
計	100.0	100.0	1000.0			

最適アスファルト量

OAC・・・ 5.4 %

ホイールトラッキング試験

調査名・目的

混合物の種類 密粒度 (13) 改質 II 型

混合物の基準密度 2.384 (g/cm³)

供試体の作製場所 ① 室内 2. 現場 3. 現場切取り 換算係数 C2= 1.0

試験年月日 2026年02月

試験者 津田 喜明

試験条件

上載荷重 686 N

60℃接地圧 0.626 MPa

試験温度 60 ℃

走行回数 42

走行方式 ① クランク式 2. チェーン式 換算係数 C1= 1.0

供試体の No.		1	2	3	平均
① 供試体の密度 (g/cm ³)		2.379	2.396	2.382	2.386
② 供試体の締固め度 (%)		99.8	100.5	99.9	100.1
変形量 (mm)	③ d30	0.80	0.82	0.96	
	④ d45	0.92	0.91	1.08	
	⑤ d60	1.01	0.99	1.17	
⑥ 変形量の差 (mm)	⑤-④	0.09	0.08	0.09	⑦ 0.09
⑧ 動的安定度 (DS) (回/mm)	$X = \frac{15}{⑥} \times 42 \times C1 \times C2$	7000	7880	7000	
⑨ 平均動的安定度 (DS) (回/mm)	$\frac{15}{⑦} \times 42 \times C1 \times C2$	/			⑩ 7000
⑪ 平均値との差の平方	(⑩-X) ²	0	774400	0	
⑫ 標準偏差	$S = \sqrt{\sum ⑪ / n - 1}$	/			⑬ 622
⑬ 変動係数 (%)	⑫/⑩	/			8.9
圧密変形量 (mm)	do				
時間-変形量曲線の形状		直線	直線	直線	

備考